

頼光四天王大江山鬼神退治之図 (ういしんごんのう おおゑやまきしんたいじじゆゑ)

絵師：百圓元年(宝永元)治元一864年(大正)35歳×75・8歳



世間では、鬼と「鬼殺隊」と呼ばれる鬼狩りの剣士たちの闘いを描いた漫画やその映画が大ヒットしていますね。「鬼」は隠れて見えないものを指す「隠」が語源とされ、災害や疫病、盗賊など人々に災いをもたらすさまざまなものが鬼として恐れられました。酒吞童子は貴族の姫君をさらし、財宝を奪うなど平安時代の都を荒らし、ついに日本史上最強の鬼です。今月紹介するのは、酒吞童子と源頼光率いる四天王との闘いの場面を鬼気迫る迫力で描いた作品。画面中央には頭に二本の角を生やし、鬼の形相の酒吞童子。対するは源氏の宝刀「童子切安綱」を手に睨み合う頼光。左右からは四天王たちが今にも斬りかかろうとしています。捕えられた姫君や鬼に苦しむ多くの人々を救うため、最強の鬼に立ち向かう彼らこそ「元祖「鬼殺隊」と言えるのかも知れません。

※実物は12月27日までふるさと発見館(郷土資料館)で展示中。今月は「丹後の鬼滅」がテーマ。



材料(4人分)

- ◇鶏ひき肉…160g
- ◇木綿豆腐…160g
- ◇干しいたけ…2枚
- ◇乾燥ひじき…10g
- ◇ゴボウ…80g
- ◇卵…1個
- ◇片栗粉…小さじ2
- ◇酒、シウガ汁…各小さじ1
- ◇塩…ひとつまみ
- ◇パン粉…大さじ2
- ◇「ま油」…小さじ1強
- ◇レタス…少々
- ◇ミニトマト…8個
- ◇ポン酢醤油…少々

①

1人分約170kcal 塩分約1.0g

作り方

- ①木綿豆腐はよく水切りし、干しいたけと乾燥ひじきは水で戻してみじん切りにする。ゴボウは縦4つ割りにして少し柔らかくなるまで茹でた後、めん棒などで繊維をつぶすように叩いてからみじん切りにする。
 - ②鶏ひき肉に①と①を加えてよく混ぜ、8等分にして小判型に整える。
 - ③フライパンに「ま油」を熱し②を両面焼く。
 - ④器に盛り、ミニトマトとちぎったレタスを添え、食べる直前にポン酢醤油をかける。
- 旬のゴボウを使い、シャキシャキした食感を楽しめるハンバーグです。ゴボウの代わりにレンコンを使っても美味しいですよ。
- よく噛んで食べると唾液の分泌が促進され、味を感じて満足感を得られます。ゆっくりよく噛んで味わい、食事の時間を楽しみましょう。
- 【協力】はまなす会 (市生活改善推進員協議会)

クイズに答えてステキな商品を当てよう！
広報クイズ

問題1 教育の今、〇〇〇力を育む -

問題2 令和3年成人式は 来年1月〇日(日)15時から

問題3 アンケートに協力くださいー 舞鶴市シニア〇〇〇〇〇〇〇プロジェクト

【広報まいつるアンケート】

◆「広報まいつる」の内容の満足度は、次のうちどれですか？

- ①大変良い ②良い
- ③不満 ④大変不満

◆広報まいつる12月号で興味・関心を持った記事は何ですか？

◆今年一年を漢字一文字で表すなら、

【応募方法】

「はがき(〒625-8555)住所不要舞鶴市役所広報広聴課(一か市ホームページ応募フォーム)左コードからアクセス可」で①クイズの答え②「広報まいつる」アンケートの回答③住所④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥電話番号の広報紙や市政への「ご意見」などを記入し、12月25日(金)消印有効までに広報広聴課へ。

※応募は1人1通。当選者は全問正解者の中から抽選のうえ決定。発表は発表をもとて代えさせていただきます。

※お寄せいただいた感想、ご意見は、匿名で広報紙に掲載することがあります。アンケートやご意見の内容は抽選に影響しません。

- ①若者 ②決算 ③11、16



ドクターのひらひら 95

4つの視点に基づき課題対応

市政を進めるにあたっては、さまざまな角度から課題を捉え総合的に考えることや、問題点を解決するために必要な情報を積極的に収集することを心がけている。

課題の捉え方としては、①鳥の目(高いところから広い視野で物事の全体を把握し判断する)、②虫の目(問題点を絞り込み細部にわたり検討する)、③魚の目(流れる水の中で生きる魚のように時代の変化を察知して対応する)、④「U」モリ(目)逆さにつり下がって物を見るように固定概念を捨て物事を反対の視点から見ることの視点を大切にしている。

情報収集については、「アンテナを高くして多くの情報を得ることが重要」と表現されてきたが、アンテナは情報を受ける機能であり、社会の変化が急速に進んでいく時代にあつては、レーダーのように課題となる対象物(音)に自らシグナルを送り働きかけを行い、その反応を分析して情報を得る手法がより優れている。

課題が見つかれば、まず「虫の目」で細部に検討を加えながら、「鳥の目」で全体を総合的、俯瞰的に把握し、「魚の目」で時代の変化を思慮し、時には「U」モリの「目」で革新的なアプローチをする必要があり、熟慮なき結論を出してはならない。

私は、4つの視点を大切に、舞鶴の進むべき道筋に確かな判断をしていきたい。



《広報広聴課》

12月号プレゼント

十番館スペシャルブレンドコーヒー&手作りの焼き菓子のセットを3名様へ

「R東舞鶴駅近くのホテルアルスタイン1階にあるカフェ。コーヒーはブラックが苦手な人も飲みやすいスペシャルブレンド。手作りの焼き菓子はその時によって種類が変わりますが、どれもコーヒーとの相性はバツグン。その他テイクアウトも充実。インスタも更新中。」



◇提供：Cafe R 十番館(南浜町20-15 ホテルアルスタイン1階、☎651-1155)

広報通信

～11月号広報クイズのアンケート結果を紹介～

- ◆応募件数(11月16日時点) 64件(フォーム44件、はがき20件)
- ◆11月号の人気記事
 - ◇1位…次代を担う若者や子どもが育つまち(25票)
 - ◇2位…令和元年度 決算の概要(7票)
 - ◇3位…シリーズ市政の今(4票)

舞鶴版Society5.0の取り組みの1つである若者チャレンジ事業を取り上げた特集記事に票が集中しました。ITに強い人材を育て、地域で活躍してもらうことで地域課題の解決につなげることを目的としている本事業に対して「市内の事業者や団体の協力でさまざまな体験ができることは、子ども達の明るい未来につながる」という意見がありました。

◆令和元年度決算の概要を読んだ感想は？
「税金の具体的な使い道が知れてよかった」「細かく分かりやすく伝わる工夫がされていた」という意見もあった反面、「無駄が多いと感じる」「難しかった」という意見もありました。これからも、引き続き健全な財政運営に取り組むと共に、それらを市民の皆さんにより分かりやすくお伝えできるよう努めます。